

弥勒石仏 みろくせきぶつ

町指定史跡



指定 / 1971年（昭和46年）5月10日

所在地 / 山ノ内町平穩（金倉）

制作年 / 1130年（大治五年）

寸法 / 像高約170cm、光背高さ約180cm、
肩幅約120cm

刻銘 / 「大治五年 歳次庚戌四月十九日 □九□ 供養」
「願主 安応聖人 大和末光」

※ □の部分は解読不能

ひらおみろくせきぶつ
弥勒石仏（平穩弥勒石仏）は、湯田中温泉の外れの
高台に建立された八角形のお堂の中に安置されていま
す。安山岩の自然石に厚肉彫りされた座像は、舟形の
こうはい
光背を含め本来の像高が165cm以上とされています。
膝より下の半身が地中内部に埋もれている生け込み式
(植え込み式)の石仏です。ふっくらとした頬やふく
らんだまぶた瞼を持つ、豊満で親近感のあるめんそう面相です。右手
は手の平を前に向けた施無畏印を結び、胸部には吉祥
せむかいん
の印である“卍”が刻まれているのが特徴的です。

「大治五年」(1130年)という平安時代後期のきねんめい紀年銘が
刻まれた資料的にも貴重な石仏です。かつてこの地方
に金倉井御牧みまき（朝廷直轄の牧場）が営まれていた頃の
貴重な文化財であり、造像銘のある石仏としては信州
最古のものであるとされています。

